

第14回 文化庁メディア芸術祭協賛展

Cooperative Exhibition on 14th Japan Media Arts Festival

先端技術ショーケース'11

Leading Edge Technology Showcase

かえり道のアールスペース

Art Space for Visitor's Reflection

入場
無料

会場：国立新美術館 企画展示室2E（文化庁メディア芸術祭会場内）

会期：2011年2月2日（水）～2月13日（日）

10:00～18:00（入館は17:30まで）

※会期中の毎週金曜日は20:00まで（入館は19:30まで）

※2月8日（火）は休館

主催：文部科学省／国立新美術館／独立行政法人科学技術振興機構

協力：多摩美術大学

問合せ：独立行政法人科学技術振興機構「デジタルメディア作品の制作を支援する基盤技術」研究領域

〒113-0033 東京都文京区本郷4-2-8 フローラビル6F Tel 03-5805-1081 <http://www.media.jst.go.jp/>

デジタル技術がアートやエンタテインメントと結びつき、表現の可能性を広げています。

先端技術ショーケース'11では、知識メディア技術が支える来場者の表現空間を提供します。



かえり道のアートスペース

Art Space for Visitor's Reflection

この先端技術ショーケースでは、来場する皆さまが表現する空間を提供します。メディア芸術祭のさまざまな作品に感動し、触発されたかえり道、その気持ちを小さなカードに表現してみてください。

アートスペース*に集まった小さなカードたちが結びつき、大きな星雲を創りだします。そこに、人々の表現を未来へ広げる、さまざまな視点が見つかるはず。

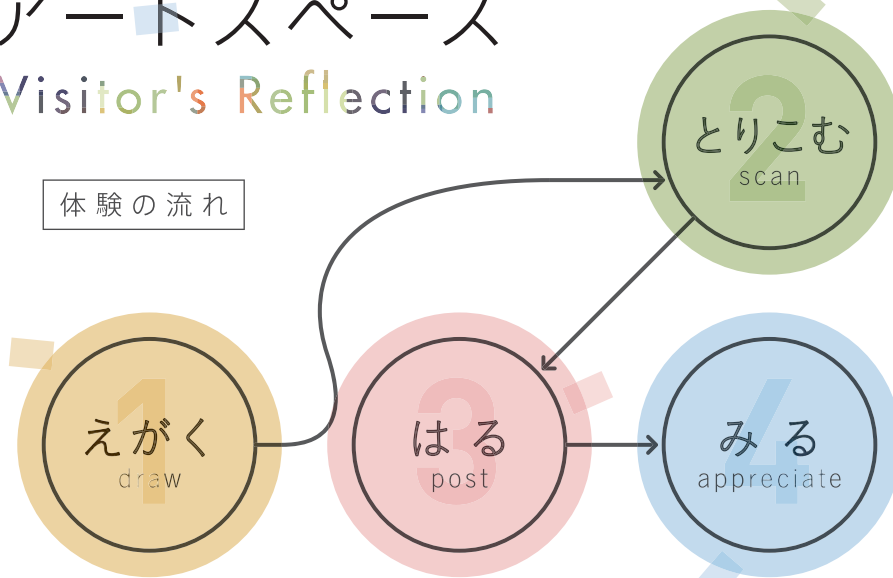
須永剛司, 小早川真衣子, 敦賀雄大, 高見知里, 家近詠子, 濱崎雅弘⁽¹⁾, 古堅真彦⁽²⁾

多摩美術大学, (1) 産業技術総合研究所, (2) 岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー

*このアートスペースは、表現ネビュラを核とした「参加型プラットフォーム」として多摩美術大学・産業技術総合研究所・東京大学が共同する「メディア・エクスプリモ」が研究開発しています。

<http://www.mediaexpro.jp/>

体験の流れ



1. 気持ちや気づきを表現カードに「えがく」
2. 表現カードをスキャナーで「とりこむ」
3. 20メートルの壁面カードウォールに「はる」
4. 表現カードが集積されたカードウォールとスクリーン表示された表現ネビュラを「みる」

楽しんで
ください!

メディア芸術祭
シンポジウム

日時

2011年2月9日(水)
16:00~17:30

会場

国立新美術館 講堂

出演

原島 博(東京大学名誉教授) 他

なお、詳細は <http://www.media.jst.go.jp/> を
ご覧ください。



- 東京メトロ千代田線乃木坂駅6a出口
- 東京メトロ日比谷線六本木駅4a出口から徒歩5分
- 都営地下鉄大江戸線六本木駅7出口から徒歩4分